

別紙 1. 今回の投資案件概要

ID: G2023-204

| | |
|----------------|---|
| プロジェクト タイトル | 結核の PoC 迅速診断を目的とする尿中 LAM の超高感度検出 |
| 製品開発 パートナー | 1. Fluxus 社 (米国) 2. 富士レビオ株式会社 (日本) 3. ハイデルベルク大学病院 (ドイツ) |
| 疾患 | 結核 |
| 製品 | 診断薬 |
| 開発段階 | 製品デザイン、製品開発 |
| 投資額 | ¥ 679,783,110 |
| ステータス | 新規 |
| 概要 | <p>【プロジェクトの目的】 本プロジェクトでは、ポータブル ポイントオブケア(PoC)システムの開発および超高感度な尿中リポアラビノマンナン (LAM) 測定試薬の開発を行います。この LAM 測定試薬は、Fluxus 社の卓上型自動分析装置を用いた尿中 LAM 測定試薬をベンチマークとして開発します。</p> <p>【プロジェクト・デザイン】 以下のことを実行して、プロジェクトの目的を達成します。 1) 卓上型自動分析装置を用いた超高感度な尿中 LAM 測定試薬の開発および性能評価を行います。また、この測定方法をカートリッジ型の PoC 測定試薬の開発に応用します。 2) 機能的カートリッジおよび PoC LAM 測定試薬のプロトタイプの開発とともに、超高感度ポータブル PoC システムの重要構成品の設計開発を行います。</p> |
| プロジェクト 詳細 | https://www.ghitfund.org/investment/porfoliodetail/detail/240/jp |

ID: S2024-122

| | |
|----------------|---|
| プロジェクト タイトル | 微生物培養液からのシャーガス病治療薬シード化合物の探索 |
| 製品開発 パートナー | 1. 北里大学（日本） 2. 長崎大学（日本） 3. 東京大学（日本） 4. Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi)（スイス） |
| 疾患 | シャーガス病／リーシュマニア症 |
| 製品 | 治療薬 |
| 開発段階 | スクリーニング |
| 投資額 | ¥ 15,945,864 |
| ステータス | 新規 |
| 概要 | <p>【プロジェクトの目的】 本プロジェクトの目的は天然物化学的アプローチを用いて微生物培養液をスクリーニングすることにより、GHIT/DNDi のヒット基準を満たし、さらなる開発が可能なシャーガス病治療薬の新規シード化合物（薬を開発する元になる化合物）を同定することです。</p> <p>【プロジェクト・デザイン】 本プロジェクトではアカデミア 3 機関（北里大学、長崎大学、東京大学）および DNDi がそれぞれの専門を活かして、1 年半の研究期間に微生物の生産するシャーガス病治療薬シード化合物を少なくとも 5 つ同定することを目指します。また、プロジェクトの過程で同定されるシャーガス病治療薬シード化合物は内臓リーシュマニアを引き起こすリーシュマニア原虫に対する活性も評価して創薬ポテンシャルを検証します。</p> |
| プロジェクト 詳細 | https://www.ghitfund.org/investment/portfoliodetail/detail/241/jp |